

光電子分光のフロンティア

～スピン・時空間分解から電池・触媒開発のオペランド観測～

主催：公益社団法人 日本表面科学会 関東支部

日時：2015年5月22日（金）9:30-16:50

会場：東京大学理学部 化学館（化学本館）5階講堂

世界中の電池、触媒、スピントロニクスなどの開発分野において、現在、表面科学の伝統的分析手法である光電子分光の最先端装置に熱い視線が集まっています。そこで本研究会では、これら新技術の研究者にお集まり頂いて研究内容を分かりやすくご講演いただき、応用及び学問分野における新しい利用展開を参加者と共に議論します。

これから光電子分光法をはじめようとする研究者、4月入学の大学院1年生や学部4年生の学生、のために光電子分光の基礎の講義も実施します。

参加費：学生無料、会員(協賛学協会員含む):2000円、一般: 3000円

参加申込とプログラムの詳細は下記ウェブサイトをご覧ください：

http://www.sssj.org/kanto/files/2014_Seminar01/SSSJ_KantoChapter_Seminar01.html

学生: 参加費無料

1. 講義：光電子分光の基礎I：小澤健一（東工大理工）
【X線光電子分光による化学状態解析】
2. 講義：光電子分光の基礎II：平原徹（東工大理工）
【角度分解光電子分光によるバンド構造解析】
3. 時間分解放射光光電子分光：山本達（東大物性研）
【光触媒、太陽電池のエネルギー変換を担うキャリアをリアルタイムで追跡！】
4. 雰囲気光電子分光実験：高木康多（分子研）
【表面化学の改革！反応ガス中での触媒反応の進行を原子・分子レベルで直接視る！】
5. 高効率・高分解能スピン分解光電子分光：矢治光一郎（東大物性研）
【究極のスピントロニクス、表面上単原子層で電子スピンはどう回る？】
6. オペランド光電子分光実験：永村直佳（物材機構）
【ナノエレクトロニクス素子の中、動作しているグラフェンの中で電子は実際どう動く？】
7. 超高速時間分解光電子分光：石田行章（東大物性研）
【超高速の世界には新しい電子現象と新技術の可能性がいっぱい！】
8. 光電子分光による元素イメージング：小飼真人（東理大基礎工）
【未来の「ものづくり日本」を支えるのはやっぱり原子・化学イメージングによる材料評価。その最先端とは？】

皆様のご参加をお待ちしております。

問い合わせ先：
日本表面科学会関東支部 中辻寛(東工大総理工)
e-mail: nakatsuji.k.aa(at)m.titech.ac.jp

